

みんなを支える 冬の暮らし

人口100万人以上の大都市の中でも、世界有数の降雪量がある札幌。白くきらきら輝く雪は、雪まつりやウィンタースポーツなど、冬ならではの楽しみを与えてくれる一方、暮らしに課題をもたらすものでもあります。この特集では、市や地域、学生が行っている雪への取り組みを紹介しながら、冬をより安心して過ごすために私たちにできることを考えます。この特集に関する問い合わせは、雪対策室計画課 ☎211-2682

わたしと
一緒に
見ていこう！

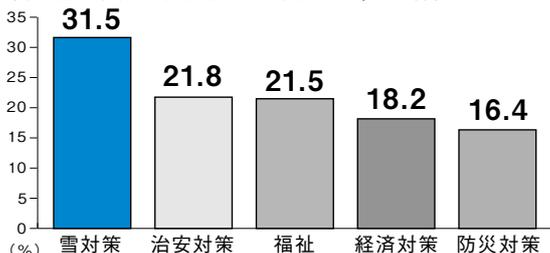


ゆきだるマン

雪と上手に付き合いながら暮らしていくことを提案する「ゆきだるマンプロジェクト」のキャラクター

市に力を入れてほしい施策は？

(平成24年度市政世論調査、回答数1,228件)



雪対策に力を入れてほしいと回答した市民は31.5%。中でも、家の前などの生活道路の除雪に対する要望が多く寄せられました。

そこで必要なのは、193万人の市民の皆さんの力。冬の暮らしをより安心なものにしていくために、みんなで協力して取り組むことが大切です。

市では、除雪・排雪を中心にさまざまな取り組みを行っていますが、予算や人員には限りがあり、全ての声に応えることは困難です。

しかし、市政世論調査で、市に力を入れてほしい施策の第1位は雪対策。意見や要望も多く寄せられており、市が抱える課題の一つになっています。

札幌の降雪量はひと冬で約6m。そんな雪のまちに住んでいる私たちは、雪と上手に付き合いながら暮らしていく必要があります。

みんなの力で冬を快適に

市の取り組み

安心・安全な冬の道をつくる「除雪・排雪」

市では毎年約150億円の予算を組み、さまざまな雪対策を行っています。その中心となるのが、除雪と排雪です。

除雪

降雪が10cmを超すときなどに、夜間から早朝にかけて実施。除雪車が道路の雪を左右にかき分けます。



1kmにつき
約3万円
掛かります

ひと晩に行う
除雪距離は
約5,400km



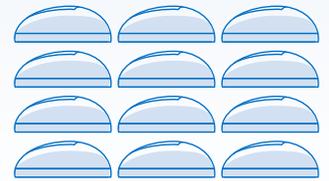
排雪

積雪が増す1月以降に実施。幹線道路や通学路などの道路脇に積み上がった雪を、雪たい積場まで運びます。



1kmにつき
約240万円
掛かります

ひと冬当たりの
排雪量は
約1,800万³m³
(民間による排雪も含む)



札幌ドーム12個分

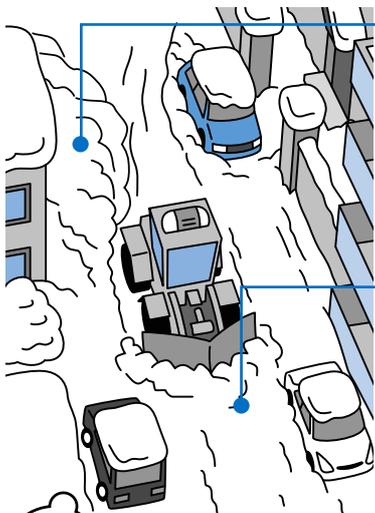
市では除雪と排雪を通して、皆さんが安心して利用できる冬の道づくりを進めています。しかし、一部の方のマナー違反が取り組みの効果を弱めてしまっています。



効率的に
作業を進める
ことが大切
なんだが！

安心して利用できる冬の道づくりを妨げる2大マナー違反

路上駐車をする...



左右の雪の量に
片寄りか

車を避けて除雪すると、車の反対側に雪が多く集まり、片方の住民に迷惑が掛かります。

除雪作業が困難に

車が道幅を狭めるため、除雪車が通りにくくなり、作業に時間がかかります。

夜間の路上駐車の数
約8,100台/日 (25年2月、市調べ)

道路への雪出しをする...



車や歩行者の
通行に支障

道幅を狭める、でこぼこになるなど、交通事故や渋滞の原因となります。

排雪量が増加

自宅の雪は自宅で処理するのが原則。雪を道路に出すと、排雪量が増えて作業に時間がかかります。

道路への雪出し箇所の数
約2,100カ所/日 (25年2月、市調べ)

次のページでは、こうしたマナー違反をなくすための地域の取り組みと冬の暮らしを支える学生の活動を紹介しますぞ！

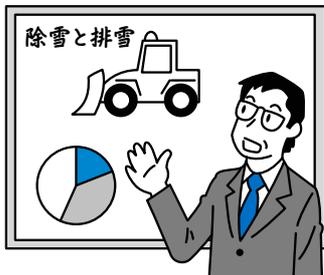
町内会の取り組み

地域の課題に向き合う 「地域と創る冬みち事業」

町内会、除雪事業者、市の三者が集まり、地域の課題を話し合い、共有する事業です。本年度は約300の町内会で開催を予定しています。

[取り組みの流れ]

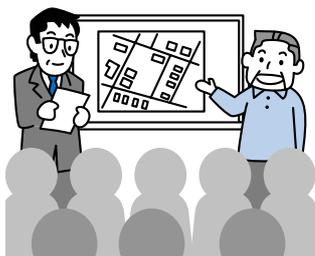
1 市の職員が、除雪・排雪の仕組みや、他の地域で行われた冬みち事業の事例などを紹介します。



2 町内会、除雪事業者、市の三者を交えたグループをつくり、地域の課題とその対応策を議論。出た意見を地図にまとめます。



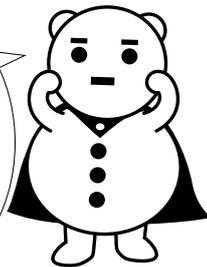
3 グループごとに意見を発表。会議の内容は町内に回覧して、地域全体で情報を共有します。



課題解決に向けて

発表された意見の中で、できることから順次、取り組みを開始します。

みんなで力を
合わせることで
大切なんだな！



手稲区手稲稲山連合町内会の取り組み

路上駐車と道路への雪出しを 取り締まるパトロールを実施

課題

アパート周辺に路上駐車が多く、排雪を行う車両の通行を妨げていました。また、排雪の直後に自宅の敷地や屋根の雪を道路に出す方も少なくありませんでした。



取り組み

警察や市と合同パトロールを実施。路上駐車をしている車に啓発チラシを張るほか、家の前の道路に雪を積んでいる世帯に、道路に雪を出さないよう伝えました。



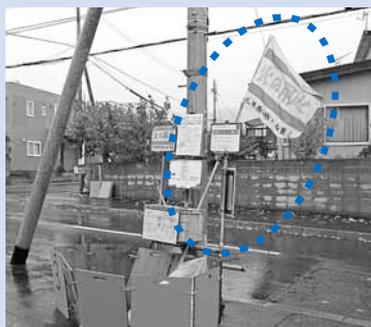
以前から路上駐車などのマナー違反に対して、住民同士のトラブルを避けたいという思いから、お互いに注意しづらい雰囲気がありました。警察や市と一緒にパトロールは効果的でマナー違反が目に見えて減りましたよ。

手稲稲山連合町内会会長 瀬尾 實さん

町内会独自の取り組みも！ 西区昭和第11町内会

課題

除雪車がごみステーションに気付かずに雪をかぶせたり、ネットを破いたりすることがありました。



▲旗は町内会にある16カ所全てのごみステーションに設置しています

取り組み

目印となる旗を立て、除雪車がごみステーションの位置を一目で分かるようにしました。

最初は目印にポールだけを立てる予定でしたが、関係者と話し合い、「火の用心」の旗を立てました。除雪車がごみステーションに雪をかぶせてしまうことも減り、火の用心の呼び掛けもできるので一石二鳥です。



昭和第11町内会会長 石崎 義治さん

大学生の取り組み

地域の高齢者を助ける「福祉除雪プロジェクト」

市内の大学では、高齢者の家の雪かきなどを行う取り組みが広がっています。東海大学では、平成20年から活動を開始し、約90人の学生が参加しています。

【取り組みの流れ】

1 高齢者などからの依頼が、大学を通じて、学生にメールで届きます。学生は、授業後に学校のバスで移動します。



2 依頼者の要望通りに家の周辺や間口などを除雪します。道具は大学や市が援助しています。



地域の高齢者と関わりたいと思い、参加しました。授業後の作業が多く、体力的にきつい時もありますが、笑顔で見送ってくれる方の姿を見ると、疲れも忘れます。こうした活動が広がり、多くの学生が参加してくれるとうれしいですね。



福祉除雪プロジェクトに携わる大学生 大原 郁実さん

作業終了!



▲雪下ろしは主に男子が担当。授業後は暗く危険なので、土日の日中などに行っています

小学生の取り組み

滑りづらい道をつくる「砂まきボランティア」

児童が、滑りやすくなっている通学路に滑り止めの砂をまく活動です。今年3月に中央区内の6つの小学校(大倉山・日新・緑丘・宮の森・円山・盤渓)で行われました。

【取り組みの流れ】

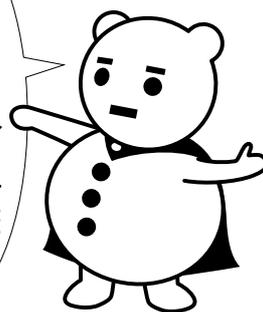
1 高齢者福祉施設の入居者などがボランティアで作った砂入りペットボトルが、小学校に届けられます。



2 児童が砂入りペットボトルで砂をまきながら帰ります。



こうした取り組みが札幌の冬の暮らしを支えているんだな!



みんなの力で冬の暮らしをより良いものに

市だけではなく、町内会や学生など、市民の皆さんの力が私たちの冬の暮らしを支えています。これからもみんなで協力し、雪と上手に付き合いながら、冬の暮らしをより良いものにしていきましょう。

除雪ボランティアを募集

高齢者や重度身体障がい者の家の玄関前などを除雪する個人・団体・企業を随時募集しています。ぜひ参加してみませんか。

問い合わせ 市社会福祉協議会(中央区大通西19社会福祉総合センター内) ☎614-3344



市が行う冬の取り組みに関する情報はホームページでもご覧になれます。

札幌 雪対策

検索